

日八十月三



定額一ヶ月五元 三ヶ月十三元 半年二十五元 一年五十元
廣告料五割 十二割 十八割 二十五割
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常磐毎日新聞社
電話 六二〇
印刷所 常磐毎日新聞社

個人主義より人格主義へ (一)

—平町十三日會講演筆記—

帝國大教授 深作安文博士

慈父の様な親しさで敬虔な人格に感じ乍ら講演を聞く、場内は肅として何の音も聞えない、次第に進み行く流暢な語韻に聴衆は心酔した。三時間に亘る講演も意義深く終つた。私はこゝに先生の御講演を多數の人に紹介し共に修養の道へ精進したいと思ふ。
(平第一校古川生)

社會には種々の憂ふ可き事がある、その一は政治家の無思慮なる行動で次は情慘なる社會現象は官吏公吏の破廉恥罪等である、それ等の起る理由を糾明するならばそれは皆個人主義にとらはれた結果である、個人主義は明治の初年外國の文物を輸入すると同時にあらゆる機關を通じて入つて來たのである、歐米の思想は個人主義である、ギリシアは君主政治であつた、それが墮落して貴族政治となりそれが腐敗して大衆主義起りデモクラシーとなり民衆主義、自由主義を唱ふる様になつた。
又クリストは平等的博愛主義である神の前には貴賤尊卑を認めない、次にフランス革命は君主主義が腐敗して自由主義が起り、世界大戰の勝利國伊、佛、英は皆民主國となり、英國は民

主的君主國といつて差支がない、日本の個人主義は斯様の影響を受けたものである、板垣退助が死んでも自由は死なぬといつた言葉は所謂それである、個人主義を物質的の方面より解すれば利己主義となる、政治家の無思慮なる行動或は悲惨な色になるのは良品下等品はあつて暫くすると赤味を帯びて來る
者或は官公吏の破廉恥罪等皆個人主義と見てよい、そうした個人主義が猛威を振り益々盛んになつて來たのである。
個人はその個人主義より免かれ社會を明かに健全にするには如何にしたらよいだろうか又さうする事によ

ノート

浅草海苔は火にあぶつて緑味を帯びて來る

つて國家社會を救ふは一段ではないか、それには個人といふ概念を淨化することである。
人格を中心とする立場所謂人格主義の立場に立てば或る程度迄國家社會を救ふ事が出來やうと思ふ、然らば淨化とは如何即ち事物を本質的に考へる事物を本質的に眺める、つまり淨化さ

明日の敵立
【朝】みそ汁—さい形じやが芋
【晝】刺肉—のこさしみ
【晚】ごまあへ—ひじき
あへ
れる、人淨化されるものに對して本質的に引戻すそれが淨化である或は淨化である。
例、シャツは買ったときは新しい、それが次第にきたなくなる。それをクリーニングして新しくきれいにする、それが淨化である。即ち淨化とは人をしてその普汎性に蘇がへらせることである、自我は社會生活をすればどうしても穢れ易い社會生活は社會人としての己れをきたなくする。そのきたなくした己れを本質的に引戻すそれが淨化である (つゞく)

雛人形雛道具

特價賣出し

久月特製たばこ人形や古代風人形類を陳列致しました。どうぞ御一覽下さい御待して居ります。
平三丁目

金太郎玩具店

雛人形道具一式

特價大賣出し

古代並に現代人形特作品豊富陳列御客様本位大勉強是非御來覽御用命を
平町四丁目
スガノヤ提灯店
電話九五番

園児募集

- 一、募集 六拾名
- 二、規則書 希望者は當園に申入れ
- 一、入園期 四月五日

平信榮幼稚園

高久病院

- 院長 醫學士 高久 忠
- 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
- 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
- 内科小兒科 外科花柳病科 平町田町 電話五一三番
- 耳鼻咽喉科 レントゲン科

復興生徒募集

第五年 第一學年 壹百名
第二學年 若干名
入學資格 小學校卒業以上
出願期日 四月四日迄
新學期開始 四月四日
私立磐城青年學校
福島縣平町城山
創立明治四十年

新學期の裁縫用具は

ハシモトヤへ!
女學生用カバン
澤山入荷しました。
田町 ハシモトヤ糸店
電 十四番
(少年店員募集)

生徒募集

- 一、卒業年限 兩科通ジテ一ケ年
- 一、入學資格 高等小學卒業又ハ同等ノ學力アル者へ無試験入學ヲ許ス
- 一、申込期日 四月八日迄

石城産婆學校

校長 鷹崎 千代
電話三五七番

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科
平南町 (電話一七〇番)
大和田醫院

推肥一毛作

受賞者が決定

既報石城郡農會主催で去る十六日午前十時より團體事務所樓上に催された推肥二毛作品評會は出品二百九十点に達し豫てより縣の古賀技師が審査中の處本日受賞者が左の如く發表された因に賞品授與式は廿一日午前十時より團體事務所にて舉行されると

- △大麥(一等)錦荒井澄(二等)大野木村武雄 草野宇佐美彦太 植田小宅勇(三等)好間鈴木茂明外十六名
- △小麥(一等)夏井鈴木末吉(二等)錦山野邊良明(三等)大浦石山藤明外四名
- △菜種(一等)夏井鈴木英雄(二等)好間高野親也(三等)植田大平洋外十名
- △紫雲英(一等)神谷志賀宅與(二等)大浦和田忠平 神谷志賀忠五郎 錦赤津長次郎(三等)勿來青天目西次外廿名
- △堆肥(一等)勿來赤津政次郎(二等)大野吉田榮次郎 磐崎北郷一衛 神谷志賀龜與(三等)植田水野善作外十六名
- △米(一等)夏井鈴木貞義(二等)四倉高藤寅雄 草野佐藤平治郎小川萩野慶次郎 赤井松本運平(三等)勿來石井運水外五名

五年以上勤績の組合事務員表彰

平の永井氏と江名の志賀氏

昨日の産業組合總會

既報石城産業組合部會總會は昨十七日午前十一時より團體事務所にて開會八年度豫算として千六百七十一圓を可決し理事改選の結果

- 太清右衛門(江名)長瀬金衛門(小名濱)小松清三(勿來)鷺清正(植田)吉田彌十郎(四倉)芳賀辨之助(草野)草野常彌(平窪)山崎倉太郎(内郷)

の八氏が當選終つて各事務

悪水豫防

廿二日に協議

平町外二ヶ村水害豫防組合では来る廿二日午後一時より平町會議室に於いて左記議案を協議する

平商志願

本日迄に九十一名
平商業學校に於ける本日迄の入學志願者は九十一名にて締切である二十四日迄には昨年同様二百名以上に達する見込みであると

夏井村後任村長に

鈴木代議士を擧ぐ

石城郡夏井村長阿部龍藏氏は今回家事都合の理由を以つて辭職の意を示したので後任者物色中であるが同村有力間には此際政黨政派を

選手皆集立つて

競技部甚だ寂寞

磐中が新陣容に腐心

磐城中學校に於ける競技部選手八百米箱崎遠平、棒高跳白土丑松、四百米藁谷正記、走高跳鈴木忠、三段跳砂田實の諸君はいづれも卒業した爲め残るは百米金成令宣及び五千米鈴木五平の

産業組合が大馬力

講演に映畫に講習に

石城産業組合部會では組會思想普及の爲め長野縣の小縣郡産業組合講師瀧澤陸三郎氏を招き本月下旬頃郡下各町村で講演並に映畫會を開會する外四月上旬には各組合幹事を招き事務の講習を催すと

八年度の

匡救事業

既報平町の匡救事業としての新川改修工事は既記の如く竣功期日の線上命令に依

つて労働者の大動員を行つて工事を急いだ結果愈々後片付けを済すのみとなつたので町役場では本日午後一時より會議室に於いて匡救事業整理並に八年度匡救事業實施等に就き協議した

優等生への

御褒美は?

玉手箱第二小學校の優等生への御褒美は?一年手箱、二年硯箱、三年丸額、四年缺付鏡、五年本立、六年硯箱、高一針箱、高二缺等で早くも職員室にウツ高く積み重ねられてある

勿來豫算町會

石城郡勿來町では来る廿日午前十時より町會を開き六年度決算並に八年度豫算を附議すると

平町人事

△三丁目一 當時仙臺市土橋通一二齋藤俊三郎氏長女八子
△播磨小路三四 山野邊義政氏三女スミ
△伯國サンパウロ州コンデク、サンタエウゼニア 菅道夫氏(二四)長橋町三六當時伯國サンパウロ州フランカカシヨラ佐藤トヨ(二〇)

榮えある日

鷹崎校の卒業生氏名

鷹崎校の卒業生氏名

藤モト 猪狩タツ 猪狩恭子 濱崎ハマエ 榛澤瀧子 羽下キヨエ 新妻マイ 小野田瀧 金成文子 上遠野雪子 菅野ヨシ子 金成ミツ 吉田アイ子 高木豊子 竹内スエ 中野信子 永山キヨ村田セイ 遠藤喜子 遠藤フク 草野テル子 山川はつ 山口八千代 山邊民子 山田キミ 小松輝代 天野ちよじ 青柳カチエ 青木ハル 赤津シマ 赤津順子 安齊千代子 佐久間ハツイ 作山絹枝 山絹枝 佐藤秀子 佐藤シヅエ 佐藤ミズ子 佐川フミエ 川フミエ 木村スサ子 峯口斌女 庄司秀子 篠崎喜代 物江ハツイ 鈴木アサヨ 鈴木ナツ 鈴木チエ 鈴木トメヲ

清野校の

卒業生氏名

庄司秀子 篠崎喜代 物江ハツイ 鈴木アサヨ 鈴木ナツ 鈴木チエ 鈴木トメヲ
藤モト 猪狩タツ 猪狩恭子 濱崎ハマエ 榛澤瀧子 羽下キヨエ 新妻マイ 小野田瀧 金成文子 上遠野雪子 菅野ヨシ子 金成ミツ 吉田アイ子 高木豊子 竹内スエ 中野信子 永山キヨ村田セイ 遠藤喜子 遠藤フク 草野テル子 山川はつ 山口八千代 山邊民子 山田キミ 小松輝代 天野ちよじ 青柳カチエ 青木ハル 赤津シマ 赤津順子 安齊千代子 佐久間ハツイ 作山絹枝 山絹枝 佐藤秀子 佐藤シヅエ 佐藤ミズ子 佐川フミエ 川フミエ 木村スサ子 峯口斌女 庄司秀子 篠崎喜代 物江ハツイ 鈴木アサヨ 鈴木ナツ 鈴木チエ 鈴木トメヲ
美津恵 岩淺綾 小池朝與 佐藤愛子
△(産婆科)伊藤キミ子 伊藤モト 猪狩タツ 榛澤瀧子 新妻マイ 大谷欣小野田瀧 金成文子 上遠野雪子 菅野ヨシ子 金成ミツ 吉田コウ 吉田アイ子 高本豊子 竹内スエ 中野信子 遠藤喜子 遠藤フク 草野テル 山川ハツ 山口八千代 山田キミ 駒木根壽子 小松輝代 青柳カチエ 青木ハル 赤津シマ 赤津順子 安齊千代子 佐久間ハツイ 作山絹枝 佐藤秀子 佐藤シヅエ 佐藤ミズ子 佐川フミエ 木村スサ子 峯口ハツ

遠く満洲の地から

平町の貧困者へと

熱誠こめた爲替が届く

感心な看護兵さん

本日青沼平町長宛に満洲國遼陽衛戍病院看護兵郡司朝男君から平町の貧困者の爲めに四圓の爲替券に左記の如き文書を添へて送附し來つたが此の奇特な看護兵さんは元六丁目附近に住んで居たらしいとのみで調査したが實家が判明せず多分同君の入營後他地へ移轉したのではないかといふ

一月二十日滿洲奉天獨立守備隊に入營した看護兵で有りすが平町に長らく居た事を思ひ出し又同情週間を思ひ出したので本日僅かばかりの金で有りすが貧しき方々に差上て下さい御願ひ致します金は小爲替にて御送りしましたから受取り下さい我國の生命線はかならず御守り致します御安心下さい

拜啓私は入營の際は色々御世話様に相成りました御禮申上ます、私は本年度

成績以外に

家庭の情况参酌

中途退學の弊を除く

磐城中等學校及び磐城高等女學校に於ける本年度入學考査は既記の如く夫々來る二十七日より三日間行れるが兩校共近年中途退學のやむなきに至る生徒が多數に上る爲め今年は特に此点に鑑み成績以外に家庭の情况等を参酌して入學を許可する方針であると因に兩校に於ける本年度中途退學者數は左の如くである

磐城中等學校 八年八名 五年三名 計十五名
磐城高等女學校 九年九名 三年七名 四年三名 計三十名

恩師の

榮譽を喜び

中村氏夫妻へ贈呈
石城郡内郷村第三小學校校長中村辰四郎氏は過般高等官七等待遇の榮に沿し且つ同氏の結婚廿五年を祝すべく

今曉の強風最中に

水産試験場の附近焼く

原因は目下取調中

石城郡小名濱町宇古港廿一料理店大津キク方より今曉二時頃強風折柄の強風で忽ち同家を全焼し隣家水野政次郎方に燃移つたので同町消防組員が全力を擧げて消火に努力の果結三時半水野方を半焼して鎮火したが附近には縣立水産試験場等も有るので非常な難路を來し

平町近接村への

水道給水を協議

新設委員會の初會議

既報過般平町會で新設された平町水道委員會の初會議は明十九日午後一時より役場會議室に開かれ豫てより平町に近接した内郷村新町有志より敷設方陳情のあつた水道の市外給水其他に就

新設委員會の初會議にて協議すると
持出した息子
石城郡磐城村字藤原五十日雇業山崎辰四郎二男政雄(七)は去る十七日夜母親の

明日のラジオ
十九日
今晩は北西の風晴
明日は南西の風晴

今晩の部

後六〇〇 子供の時間
漫劇「お終ひからす輝吉」漫劇場
後七三〇 時局特別講演
の夕(聯盟)退と我が國の
濟界(經濟)博士牧野勤
智(脱)退後に於ける日本
の外交(東京)大教授法
學博士 神川彦松
後九〇〇 但詔壽才三外

明日の部

後九三〇 全國ニュース
氣象通報 番組豫告
前七〇〇 佛教談座「六
法禮經」二日 壽山良海
前七五〇 「彼岸會法要
第二日」眞言宗長谷寺
前九一〇 榮養料理「玉
子焼と甘藷の煮付」榮養
研究所

平第二校

平第二校成績品展 小學校にては來る二十四日の卒業式當日卒業生の成績品展覽會を催すと

平職業紹介所報告

回人を求める方
△自動車助手 十六才 尋卒 給料面談(四倉町某)
△小商店員 十六才 高卒 仕着小遣(四倉町某)
△洋服工見習 十六才 尋卒 仕着小遣(平町某)
△理髮業見習 十六才 高卒 仕着小遣(平町某)
△回職を求める方
△女中 二十四才 高卒 給料面談(江名町某)
△菓子屋外交 二十六才 尋卒 給料面談(岩手縣某)
△雜夫 四十才 尋五修 給料面談(平町某)
△自轉車職見習 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)
△ペンキ見習 十六才 高卒 給料面談(好間村某)

郡下を荒し廻る

不審な労働者は窃盜犯

石城郡内郷村字綴地内を去る十七日午後十時頃労働者の風の男が徘徊して居るのを平署員が不審に思ひ本署に引致して取調ると同人は山形縣東村山郡生れ窃盜前科一犯當時住所不定長沼富治(三)で去る五日夜磐城村字馬玉地内金成酒店より茶色オーバー時價甘圓を窃取しし外郡下各所を十數件荒し廻つた旨自白したので目下嚴重取調中

平裁判たより

茨城縣多賀郡南中郷村大字足洗十六番地壘職白沼富彌(三)が昨年十月初旬石城郡植田町大字植田字本町下山田心平方より三回に亘り現金百二十圓及び壘表鏡等窃取した外二ヶ所より自轉車其他價格二百餘圓を窃取したる事件の公判は來る二十日午前九時より平區製判所に於て竹内判事係り上田檢事及び渡邊書記立會の下に開廷されるが當日は平第一内郷第一兩小學の卒業生三百餘名が傍聴すると

兩校長 縣廳へ

教員の異動

平第一第二兩小學校校長は本日平發午前九時にて教員の

金葉茶室

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百九十席

佐々木見山

お開帳の雑沓

松崎采女と渡邊金彌は顔と顔と見合した

松「コレ久太とやら、曲馬の小屋に我々を案内して、小きん小兼といふ曲馬をいたす二人に會はせて貰ひたい」

久「ヘエ、それはどういふわけでござんす」

松「イヤ、少々用事があるその小きんと小兼と申す者に會はねばならぬことがあ

る」

久「左様でござんすかえデハ御案内いたします」

松「コレハ輕少であるが案内をいたしてくれるその禮として遣はす」

金二朱紙へのせて出した

久「これは有難う存じます

且那にお目にかゝつた爲に

思ひもよらぬ錢儲けをいたしました、さア出かけませう」

松「大きに厄介になつた」

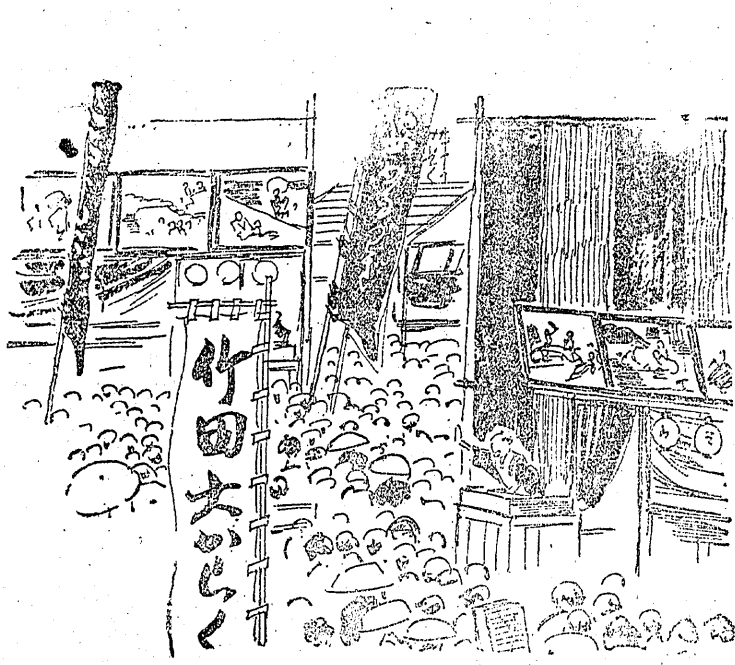
と茶代すし代を置いてこの茶屋を出て、橋を渡つて

東兩國に來て細小路から回

向院前へ來ると嗟賊の釋尊

の開帳の札立てである、多くの善男善女に引もきらす參詣する、講中は旗を文し午

は萬燈を掲げ、なアまいた



居ります」

と兩側から聲をかける、正面は回向院の本堂、階段

は庭で包み横の方に建増し

をして疊を敷つたが、この疊のやわらかいこと踏む

とへこみます、さうしてバツ

ツバと塵を上げる、此處には寶物が並んでゐる、袴

織の男が竹の細い杖を持つて寶物をさして有難さうな説明をしてゐる

○「此處に安置いたしたるはかたじけなくも釋尊檀特山にゐらせられる時この山の麓にて家來し、のくに別れを告げたる時お渡しなされる御かたみの珠數の紐は絹にて、珠數の珠はあら、ぎでございませう、近う寄つて御拜をとげられよう、その次に安置いたしたる古びたる麻の御衣は檀特山をお出立になつた時に召されたおん衣にございませう、近う寄つて御拜は遂げられま

おかくれになりし時人々は申すまでもなく禽獸にいたるまで歎き悲しみその聲天宮に通じ下界に如何なる椿事出來せしかと天人三保の松原に天降つた時に白龍と申す漁師天人の羽衣を奪ひ遂に夫婦となり、二人の間

に設けた男子こと文覺上人でございませう、その涅槃の體を元信がしたためたるこ

れは大福で御座います、下の方をまくつて御覽なさい

と云つた、涅槃の圖には獸物や鳥が澤山描いてあり

ますが猫はない、ところがこの圖には猫もある、下の方に此處に猫ありと書いて

ある、現代の方は御存知ありませんが皆開帳があると

怪しい變なものを寶物と云つて見せたもので、鎌倉へ行くと頼朝の頭蓋骨を見せ

ました説明者は高慢な顔をして

○「これぞ頼朝公のしやりかうべなり」

などといふ、江戸ッ子はこれを見て

江「こいつはおかしいナ、頼朝はおでこだといふことを聞いてゐる、それにしちやアこの骨は小さいぜ」

となじられて説明者は一段聲を張上げ

○「これは頼朝公の御七歳の時のしやりかうべなり」

などといふ、そんなに幾つも頭があつては大變、これは江戸時代の落語にもあります、人を馬鹿にして

居ます、これを見る參詣人は大喜び、それよりお札を

もらつて戻る、世話人は金が儲かるからお釋迦様の御利益は有難いとこれも大喜び、回向院の境内にはこの開帳で金儲けをしようと思

世物小屋がそれからそれと列んでゐる、狐娘が居る、猿芝居がある、又葛西の源兵衛堀で捕つた河童四斗樽

に水が入つてゐて、時々赤いものがブク／＼と浮上るこれを河童だといふ、今から考へると爲ることが幼稚

です、それだけ又雅致もありません

三井タクシ

平町二丁目

電話六八五番

市原醫院
平町田町
電話一四四番

上田外科醫院
平町南町
電話一二二番

特價一臺金參圓五拾錢

家庭裁縫の簡易化

一般家庭に於てミシンの便利重寶なる事は皆さんの御承知の通り其の需要を要求してりましたが從來のミシンは數十圓數百圓の高價の爲め一般家庭用として購入出來ませんでした今般斯界の大家田島先生の數ヶ年の苦心研究によつて斯く大衆向の愛國ミシンの完成され然も突飛的の定價にて從來のミシンと遜色なく便利で各御家庭には必ず常備として一臺なくてはならぬ様になりました。本機の使用方法は極めて簡單で御子様方でも三十分位の練習で自由和洋の御仕立が出來ます(御注文は代引又は前金に願ひます。送料實費)

◎外交員募集

平驛前

マルカ
店主 加藤正保
電話三二番

石城郡下代理店
多賀郡
電話三二番

花外科專門

木村外科醫院

入院自炊の便あり

平町五丁目橋際
電話三〇九番

旭硝子株式會社製品 板ガラス

旭硝子株式會社製品
赤菱印
硝子 食器
硝子 壺
其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
仙臺市榮町(電話五九七番)